

# 木材・瓦類関係

---

沖縄総合事務局

# 構造材(大径材)の樹種選定方針

- 「首里城正殿等の復元に向けた工程表」(2020年3月27日首里城復元のための関係閣僚会議決定)に基づき、来年度から木材(大径材)の調達を行うため、本年5月22日より、国内の事業者等に対し木材(大径材)の価格調査を実施。

## 調査対象樹種

- ① 国産ヒノキ      ② カナダヒノキ      ③ タイワンヒノキ      ④ イヌマキ      ⑤ オキナワウラジロガシ

※事前調達を行う構造材(大径材)について国内の事業者等に対し見積りを依頼。

※林野庁による調達可能性調査の結果、①及び②については、一定量の在庫を確認。他樹種については引き続き調査中。

## 調査結果(概要)

- ・ 構造材(大径材)の部材全てを国産ヒノキで供給可能として見積書を提出した者 **14者**
- ・ 構造材(大径材)の部材の大半を国産ヒノキ(一部カナダヒノキ)として部材全てを供給可能として見積書を提出した者 **1者**
- ・ 構造材(大径材)の部材全てをカナダヒノキで供給可能として見積書を提出した者 **9者**

見積書の確認及び見積提出者に対するヒアリングの結果、国産ヒノキ及びカナダヒノキについては供給可能であることが確認された。一方、タイワンヒノキ、イヌマキ及びオキナワウラジロガシについては見積書提出時点では供給可能性が確認できなかった。

- 国内の事業者等に対し構造材(大径材)の価格調査を実施した結果及び「首里城正殿等の復元に向けた工程表」(3月27日首里城復元のための関係閣僚会議)に基づき、構造材(大径材)の樹種選定方針については次のとおりとしたい。

## 構造材(大径材)の樹種選定方針(案)

調達可能性の点では、国産ヒノキ、カナダヒノキともに使用可能であるが、琉球王朝時代においても本土から木材を調達していた歴史的経緯を鑑み、政府において決定した「首里城正殿等の復元に向けた工程表」に基づき、構造材(大径材)については原則として国産ヒノキを選定することとする。

## 【木 材】

### ○構造材(大径材)

- ・ 往時の首里城に使用されていたと推定されているチャーギ(イヌマキ)及びオキナワウラジログシについては、引き続き関係省庁と連携しつつ、年内を目途に調達が可能かどうか調査を継続し、調査結果を踏まえ、構造材(大径材)での使用部位について検討する。

※台湾ヒノキについては、林野庁及び日本台湾交流協会による調査の結果、構造材(大径材)に使用可能なものは確認できなかった。

### ○造作材等

- ・ 造作材等についても同様に調査を実施し、造作材等に用いる樹種の選定方針及び使用箇所、仕様等を検討する。

## 【瓦 類】

- ・ 現在実施中の材料(クチャ等)の現地調査や焼成試験の結果等を踏まえ、配合や仕様等を検討する。